

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム桃の里

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 7 月 11 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	施設内で行う研修内容はいつも管理者が考え、決めている。	職員一人ひとり順番に議題を決めてもらう。	議題を当番制で決め、拘束・衛生を踏まえながら、1~2ヶ月毎に研修を行う。	12ヶ月
2	52	掲示物を留める時に、押しピンを使用している所がある。	利用者の安全に配慮した掲示をする。	もしもの事を考え、職員間でどうしたら認知症の人が安全・安心して過ごせるか理解し、環境を整える。	1ヶ月
3	13	職員のスキルアップへの支援	現状に留まらず、常に次へスキルアップできるように、しやすいように職員の環境を整え、会社が支えていく。	職員と話し合い、今後どのような資格を取ろうと考えているのか相談にのる。必要に応じて勤務を工夫し、働きながら資格が取れる様にする。	12ヶ月
4	2	コロナの為、地域行事・イベント・施設内での傾聴ボランティアや職場体験などを中止にしている。	コロナが落ち着いたら地域行事へいつでも参加できるようにしておく。	運営推進会議や老人会に参加できる時に参加し、情報収集してイベントなどに参加したい時に直ぐ出来る様にする。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。